

## 令和5年度 園芸科「総合実習 野菜」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	園芸科 2年 A組
教科書	野菜（実教出版）	副教材等	総合実習ノート

### 1 学習の到達目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得し、経営と管理についての理解を深めるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を身に付ける。

### 2 重点目標

- ・適切な服装や態度で実習にのぞみ、実習内容を記録できるようになる。
- ・露地野菜（トウモロコシ・カボチャ・ダイコン・レタス等）の栽培方法について理解する。
- ・販売実習を通して、高校生としてふさわしい態度で、お客様とのコミュニケーションが取れるようになる。

### 3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	トウモロコシ・カボチャの栽培	野菜類の育苗技術	農具の使用方法・管理方法を学ぶ。 育苗上の注意を学ぶ。 苗の管理技術を学ぶ。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
		露地栽培における果菜類の栽培	トンネル被覆による効果を学ぶ。  カボチャの定植を行う。  整枝を行う。  誘引を行う。	
5	トウモロコシ・カボチャの栽培	施設・トンネル使用による早出し栽培	トウモロコシの収穫適期の見分け方を学ぶ。  トウモロコシを収穫し、計量・調整を行う。 販売実習を行う。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
病害虫防除の方法について学ぶ。  追肥を行う。				
カボチャの収穫を行う。 販売実習を行う。				
6	7		農業鑑定競技会として実施	
9			ブロッコリー・レタス・ダイコンの栽培	
10		露地栽培における根菜類の栽培	土壌の適性pHを測定する。 苦土石灰を作目に応じたpH調整を行う。  ダイコンのは種を行う。 ホウレンソウのは種を行う。  病害虫防除の方法について学ぶ。	

11	ブロッコリー・レタス・ダイコンの栽培	露地栽培における根菜類の栽培	ブロッコリーを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 レタスを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 ハウレンソウを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
12			ダイコンを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 販売実習を行う。 農業鑑定競技会として実施	
1	土壌について	土壌の種類・性質	土壌消毒を行う。 病害虫対策の方法を学ぶ。 雑草対策の方法を学ぶ。 土壌の適性pHを測定する。 苦土石灰を作目に応じたpH調整を行う。土の性状 土質・土の性状 肥料配合を行う。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認 意見発表会原稿評価で代替
2	野菜の育苗	野菜類の育苗技術	施肥技術について学ぶ。 マルチングを行う。 セル成形苗を育苗する。 は種を行う。	
3			ポリポットの種類・使用方法について学ぶ。 鉢上げを行う。	

#### 4 評価の観点

知識・技能	農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 農業生物の育成と環境保全に関するプロジェクト学習を通して、知識と技術を理解し、農業の社会的な意義や役割を理解することができる。
思考・判断・表現	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 体験的、探究的な学習活動を通して、生物生産の仕組みとその育成や地域環境に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。
主体的に学習に取り組む態度	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 農業の各分野への展開と活用を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養い、農業の振興や社会貢献に主体的活協働的に取り組むことができる。

#### 5 評価の方法

「知識・技能」，「思考・判断・表現」，「主体的に学習に取り組む態度」，の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

#### 6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・出席を常にしてください。
- ・実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し、適切な服装で参加してください。
- ・毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し、記入してください。
- ・次年度の実習に向け、機械、用具の名称や使用目的を覚えてください。
- ・実習ノート提出を定期的に行われます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。
- ・安全に配慮して、実習してください。

## 令和5年度 園芸科「総合実習 果樹」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	園芸科 2年A組
教科書	果樹（実教出版）	副教材等	総合実習ノート

### 1 学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	果樹の栽培技術	(1) ナシの摘蕾	ナシの受粉・開花特性を理解する。	出席状況 服装教具の準備 行動観察 作業結果 ノート記載内容
5		(2) ネット張り	ナシネット設置の意味を理解し、病害虫・気象災害防除の大切さを理解する。	実物農業鑑定
6		(3) ナシの摘果	ナシの着果特性と摘果の目的を学習し、摘果法を理解する。	
7		(4) ウメの収穫と調整	ウメの収穫法と調整法を学び、果実の価値や需要等を学習する。	
		(5) 袋掛け	袋掛けの意味を学習し、果実に対する市場での評価を理解する。	
		実物農業鑑定		
9	果樹の栽培技術	(6) ナシ・クリの収穫と調整	ナシの収穫法と調整法を学び、果実の価値や需要等を学習する。	出席状況 服装教具の準備 行動観察 作業結果 ノート記載内容
10				
11		(7) ナシの病害虫対策	落葉片付け（埋設）及び粗皮削り	
12		実物農業鑑定		実物農業鑑定
1	果樹の栽培技術	(8) 剪定	ナシ・ウメ・キウイフル	出席状況

2			ーツ・ブドウの剪定方法を学習する。	服装教具の準備
3				行動観察 作業結果 ノート記載内容 実物農業鑑定

### 3 評価の観点

知識・技能	農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 農業生物の育成と環境保全に関するプロジェクト学習を通して、知識と技術を理解し、農業の社会的な意義や役割を理解することができる。
思考・判断・表現	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 体験的、探究的な学習活動を通して、生物生産の仕組みとその育成や地域環境に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。
主体的に学習に取り組む態度	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 農業の各分野への展開と活用を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養い、農業の振興や社会貢献に主体的活協働的に取り組むことができる。

### 4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ

- ・出席を常にしてください。
- ・実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し、適切な服装で参加してください。
- ・毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し、記入してください。
- ・次年度の実習に向け、機械、用具の名称や使用目的を覚えてください。
- ・実習ノート提出を定期的に行ってもらいます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。
- ・安全に配慮して、実習してください。

## 令和5年度 園芸科「総合実習 草花」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	園芸科 2年A組
教科書	草花 (実教出版)	副教材等	総合実習ノート

### 1 学習の到達目標

<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
---

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	春用花壇用草花の育苗 サルビア マリーゴールド ニチニチソウ	(1) 播種	播種方法を理解する。	出席状況
		(2) 土の種類と配合	土の種類と鉢上げ用土の配合を理解する。	服装教具の準備
5		(3) 土作り	土作りの方法を理解する。	行動観察
		(4) ポット土詰め	ポットに土を詰める方法を理解する。	作業結果
6		(5) 発芽後の管理	発芽後のかん水や置肥、殺虫剤散布などの作業の必要性を理解する。	ノート記載内容
		(6) 良い苗と悪い苗の判別	苗を見て、良し悪しを見分けることができる。	実物農業鑑定
7	販売実習	花壇用草花の販売	草花の特性を理解し、コミュニケーションを取りながら販売することができる。	
	春用花壇用草花の利用と管理	花の装飾	本校で栽培している草花を使い、花壇やプランターに装飾することができる。	
9	秋用花壇用草花の育苗 パンジー・ピオラ ハボタン	(1) 播種	播種方法を理解する。	出席状況
		(2) 土の種類と配合	土の種類と鉢上げ用土の配合を理解する。	服装教具の準備
10		(3) 土作り	土作りの方法を理解する。	行動観察
		(4) ポット土詰め	ポットに土を詰める方法を理解する。	作業結果
11		(5) 発芽後の管理	発芽後のかん水や置肥、殺虫剤散布などの作業の必要性を理解する。	ノート記載内容
		(6) 良い苗と悪い苗の判別	苗を見て、良し悪しを見分けることができる。	実物農業鑑定
12	販売実習	(1) 花壇用草花の販売 (2) 鉢花の販売	草花の特性を理解し、コミュニケーションを取りながら販売することができる。	
	秋用花壇用草花の利用と管理		本校で栽培している草花を使	

			い、花壇やプランターに装飾することができる。	
1	販売実習	鉢花の販売	草花の特性を理解し、コミュニケーションを取りながら販売することができる。	出席状況 服装教具の準備
2	春用花壇用草花の育苗 サルビア マリーゴールド ニチニチソウ	(1) 苗床の準備	苗床について理解できる。	行動観察
		(2) 播種	播種方法を理解する。	作業結果
		(3) 発芽後の管理	発芽後のかん水や置肥、殺虫剤散布などの作業の必要性を理解する。	ノート記載内容
3		(4) 良い苗と悪い苗の判別	苗を見て、良し悪しを見分けることができる。	意見発表

### 3 評価の観点

知識・技能	農業の各分野に関する総合的な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けることができる。
思考・判断・表現	農業の各分野における総合的な技術の習熟と、各科目における知識の確認と検証を通して総合的な技術に関する課題を発見し、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもって、農業各分野の専門的な内容について、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	農業の各分野における自らの職業生活について考えながら、農業の総合的な知識や技術、経営や管理について企画力や管理能力、活用技術などを学ぶ中で、農業の各分野への発展と活用を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。

### 4 評価の方法

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ

- ・出席を常にしてください。
- ・実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し、適切な服装で参加してください。
- ・毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し、記入してください。
- ・次年度の実習に向け、機械、用具の名称や使用目的を覚えてください。
- ・実習ノート提出を定期的に行ってもらいます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。
- ・安全に配慮して、実習してください。